

◎第4学年授業改善プラン

☆印については、ご家庭で取り組んでいただきたいことです。

	現状分析（児童の実態） ○成果 ●課題	・学校での取り組み（授業改善プラン） ☆家庭学習ポイント（保護者の方々へ）	チェック
国語	○区の学力調査によると正答率73.7%で、区の平均率を2.3ポイント上回っている。中でも、「説明文の内容を読み取る」問題では、区の平均値を5.8ポイント上回った。 ●「調べた結果の表をもとに文章を書く」問題では区の平均値を6.3ポイント下回った。	・言葉を正しく使い、語彙を豊かにするために説明文などの音読に取り組み、内容の中心や構成のしかたを捉えられるよう指導しながら定着を図る。 ・表やグラフなども教材として取扱い、資料から分かることをノートに書く活動を取り入れる。 ☆表などの資料をもとに要点をまとめて話す機会をつくと文章をまとめる力がつきます。	
社会	○興味をもって学習に取り組んでいる児童が多い。今までの経験をもとに発言できる。 ●調べる学習では、資料から分かることを読み取る力が弱く、ノートに書けない児童がいる。	・「なぜだろう」と疑問に思ったことについて予想を立てたり、小グループで話し合ったりすることで、自分の考えをもつことができる時間を設ける。 ・課題に対して資料から何をどのように読み取るのか丁寧に指導を行う。1つの資料を全体で読み取る時間を設け、グラフ・表を使いどんなことが読み取れるか発表することで、グラフ・表の読み取り方の理解を図る。 ☆新聞や本などに出てくる資料をもとにどのようなことが分かるか考える機会が増えると、資料を読み取る力がつきます。	
算数	○区の学力調査によると、「かけ算」「長さ」と「重さ」「棒グラフ」の問題で区の平均を上回っている。中でも「かけ算」は5.2ポイント上回っている。 ●「わり算」「時刻と時間」「円と球・三角形」が区の平均を下回っている。	・見直しの仕方を教え、見直しをする習慣をつけさせる。 ・ノート指導を徹底し、数字を丁寧に書く、線を丁寧に引く、早く見やすく書くよう指導していく。 ・日常生活の中で量や時間を意識させるように声かけをしたり、日常的に比べたり測定したりする習慣をつけさせることで、量や時間の感覚を体感的につかませていく。 ☆時計を読み時間を求めたり、会話の中で時間を尋ねたりしながら、意識して活用してください。 ☆宿題に出された問題が正しく解けているか見てあげてください。	
理科	○興味をもって実験や観察ができる児童が多い。 ●根拠をもって予想を立てることや、実験の結果から分かったことを考察することが課題である。 ●観察、実験したことを知識として覚えることが課題の児童がいる。	・観察や実験では、記録を分かりやすく書く指導をし、知識として覚えなければいけない部分は、確実に指導する。 ・実験の結果だけでなく、予想と比較して分かったことを書けるように指導する。また、実験後の学び合いの時間を大切にする。 ☆科学的なものの見方を育むことができるよう、生活の中での身近な自然の変化について、「どうしてだろうね。」などと投げかけ、会話をふくらませてみてください。	
音楽	○音楽を形づくっている要素の働きを感じながら、意欲的、積極的に音楽表現活動に取り組むことができ、音楽に対する興味・関心をもってしている。 ●楽器のリコーダーの学習では、運指など技能面でのつまずきを感じている児童たちが見られ、適切な練習方法で、継続的に取り組むことが難しい。	・伸びのある明るい声で歌ったり、演奏したり、音楽をよく聴き感じ取ったことを体の動きで表したりするなど、多様な音楽活動を通して、音楽に親しむようにする。 ・楽譜に親しみ階名で歌い、リコーダーで短い旋律を吹くなどの基礎的な積み重ね学習においては、必要に応じて補充学習も行い指導する。 ☆楽器を持ち帰った時は、学習している曲を聴き、息遣いや運指、音色の美しさなど、よい所を認めてあげましょう。また、思うように演奏できない場合は、助言をお願いします。保護者の方と一緒に、繰り返し練習する時間をつくりましょう。	
図工	○新しい技法や材料に対して関心が高く意欲的に取り組むことができる。完成イメージをしっかりと持ち、丁寧に仕上げようとしている。 ●じっくり取り組むことができず早く雑に作ってしまう児童がいる。	・実現可能な制作内容を例示し、見通しを立てたり、やり方を工夫する時間を確保してじっくり取り組ませられるよう指導する。 ・制作の仕方ある程度精選して、作業進度に差が過ぎ過ぎないように配慮しながら活動を促す。 ☆新しく取り組んだ題材の楽しさや、新しく身につけた技術について話を聞き、共感してあげてください。今年度は作品展があり、実際の作品を見てその良さをほめてあげてください。また、身近な美術作品を見たときや、身の回りのものに触れたときに感じた美しいと思う気持ちや感動を、言葉にして話し合っけてあげてください。	
体育	○体力テストによると男女ともに「上体起こし」「立ち幅跳び」が全国平均より高い。 ●男女ともに「20mシャトルラン」「ソフトボール投げ」「反復横とび」が全国平均を下回っている。	・持久走や縄跳びなど、体育的活動への参加を促すとともに、体育の時間の始めに、継続的に持久力を高める運動をする。 ・ジグザグ走・号令による前後左右のステップや足の踏み変えなどの瞬発力を高める運動を取り入れる。 ☆運動を習慣づけるために、外遊びをするように声かけをしてください。また、休みの日などに、ご家族で体を動かして遊ぶ機会をつくってください。	